

## 事務事業評価における総括

部 局 名	農業委員会事務局	記入責任者	岩澤 健治
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>農業委員会事務局の業務計画に位置付けた事業については、4 事業のうち 3 事業で指標を達成し、1 事業を除いては S 評価としており、順調に進捗しています。</p> <p>「遊休農地の有効利用に係る事務」については、平成 29 年度の農地利用状況調査の結果、農業振興地域内において 2.2 ヘクタールの遊休農地が解消されたことから S 評価としており、市内全域の耕作放棄地面積としては、27.2 ヘクタールとなっています。</p> <p>「違反転用対策」については、長期経過してしまった案件が是正に至らなかったことから目標を達成することはできませんでしたが、農地パトロールの実施や初動対応による新たな違反予防や早期解消を図ったことから A 評価といたしました。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>A 評価とした「違反転用対策」についてのうち、農地に残土や産業廃棄物等が積み残され、長期経過してしまった違反案件については、行為者や地権者の金銭面等の問題もあり、是正が困難となっています。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>農業委員会事務局については、全ての事業が概ね順調に進捗しており、政策・施策目標を達成しつつあることから、引き続き、業務を継続して進めていきます。</p> <p>30 年度は職員が 1 名減となっており、更なる業務の効率化を図り、限られた人員・コストの中で効率的に仕事を行っていく必要があります。</p>			